



新潟県に新設医学部は必要?

新潟県の泉田裕彦知事は、県内の医師不足解消のため医学部新設を積極的に国に求めています。医学部新設の是非について、助産師学生的美緒ちゃんと元助産師の臍ばあちゃん(新潟弁)が語り合います。

医学部を新設しなくても定員増で、近い将来世界標準の医師数に

美緒: 人口 1000 人あたりの医師数はわが国では 2.2 人で OECD 加盟国平均の 3.1 人はもちろん、主要先進国(G7)の平均 2.9 人と比較しても少ないの。この数字は医師の増員が必要な根拠としてよく出されるわ。

臍ばあ: そらろも、最近医学部の定員はしかも増えたんでねっか。

美緒: そうね。医学部の入学定員は 2007 年まで 7625 人だったのが、毎年定員増がなされ、2010 年には 8846 人と 1221 人も増えているの。

臍ばあ: そりゃ新しい医学部 12 個分にもなるわな。

美緒: この 8846 人の定員を維持すれば、2025 年には日本の総人口の減少もあって、人口 1000 人あたりの医師数は 2.8 人になると試算され、現在の G7 の平均値まで増加することは確実視されているの。

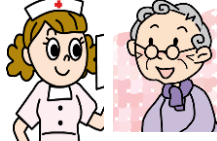
18歳人口の 133 人に1人も医師になってそれでも足りないって?

臍ばあ: わしらの頃は医者になるもんはめったにおらんかったな。

美緒: そうね、1960 年には 18 歳人口が 200 万人だったのに対して医学部の定員は 2840 人で、医師になる割合は 704 人に1人だったの。

臍ばあ: 昔のお医者は、漢詩や俳句、書道、絵画なんぞをよしたな。

美緒: そう、選ばれた人といった感じね。それに比べて 2010 年には 18 歳人口 122 万人に対して定員はさっきも言ったように 8846 人なので、133 人に1人も医師になっているのね。



臍ばあ: お医者はもちろんなくてはなんねえ仕事さ。世の中には農家から、物をつくる人から、物を売る人ももしかもある。いろんなサービスをする人もばかいっぱいこと要る。病院だって看護師さんも技師さんも事務の人も要る。そん中でお医者だけ 133 人に1人もなって、それでまだ足りんというのはどういがんらこて。孫が読んでる「13 歳のハローワーク」には 514 種類もの職業が出ているこて。

美緒:。医師は絶対数が足りないのではなくて、地域の偏在、診療科の偏在、さらに病院と診療所の偏在が問題なのよな。

医師不足といっても医師の絶対数ではなく、病院勤務医の不足だ

美緒: 例えば産婦人科でも、開業医は婦人科手術はできないし、出産も少しでも何かあるとすぐ病院に送るようになってきているの。だから病院勤務医は激務で、やめて開業する人が後をたたず、残された勤務医はさらに大変になるという悪循環になっているようね。

新設医学部には地域医療に貢献している多くの医師が吸い上げられる

臍ばあ: もしも新しい医学部を作ったら、内科、外科、小児科や基礎の解剖、病理みてえな教授さまなんかが、しかも要るんらろな。

美緒: そうしたら、今県内の病院に勤務している先生方が教官として任用され、ますます勤務医が減ってしまうわ。とくにできる先生ほどね。医学部を作ったら地域医療が崩壊という皮肉な結果になるわ。

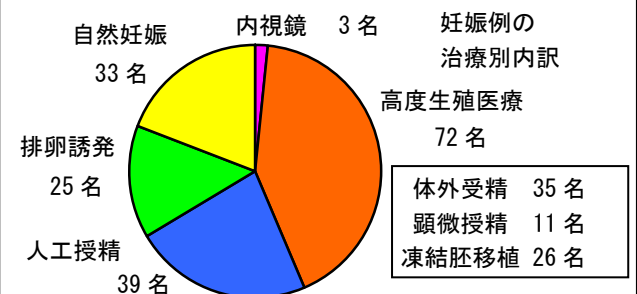
臍ばあ: 泉田知事は「教授は県外から呼べばいい」なんていっておるが、教授さま 1 人では患者診るのも研究も講義も何もできんわな。

新潟大学が魅力あるものになることも大切 結婚作戦もある

美緒: 済生会病院の湯沢先生や長谷川先生は県外出身だけど、新潟に居ついているわ。新潟大学産婦人科の教授に惹かれたみたいね。

臍ばあ: 鳥せんせ、富永せんせは地元の出じゃが、富山や埼玉出身のだんなさんと結婚したそうねっか。連中を新潟に引きとめて新潟のお

昨年の不妊症妊娠 172 名



平成 23 年の 1 年間に当科不妊外来で妊娠成立した方は 172 名に達することが分かりました。治療法別の内訳は上図の通りで、体外受精などの高度生殖医療が 72 名で最多で、以下人工授精、排卵誘発の順となっています。自然妊娠となった方の約 7 割は卵管

造影検査後であり、この検査の治療的効果を示しています。

当科では高度生殖医療に偏ることなく、できるだけ自然に近い妊娠をしていただくことを基本方針として

います。しかし、右上図のように不妊外来の患者さんの年齢は年々増加傾向にあり、昨年は 35.2 歳とついに 35 歳を突破しました。年齢が 40 歳近くと高くなりますと、排卵誘発や人工授精といった通常の方法での妊娠は難しく、どうしても高度生殖医療が必要となるケースが増えてくるのです。

実施件数は、高度生殖医療が 238 件で、妊娠率は 72/238 = 30.3%でした。人工授精は 282 件で、妊娠率は 39/282 = 13.8%でした。今後とも丁寧な治療を行って、多くの皆さまに妊娠成立をお伝えできればとスタッフ一同考えています。

医者を増やした。やいやー、こりや知事表彰もんらこて。

県民の健康は医師のみによって守られるのではない

美緒: 最近面白い話を聞いたわ。新潟県の医師数は人口千人あたり 1.79 人で全国 38 位だけど、平均寿命は特に女性は 9 位なの。有名なのは長野県で、医師数は新潟より少し上の 35 位なのに平均寿命は男性 1 位、女性 5 位よ。反対に医師数が上位の県の平均寿命が長いかというところでもないの。

臍ばあ: やっぱ肉ばっか食ってね

えて、地元のうんめえ米や野菜を食うのがでえじらな。美緒: そういう食育や、地域の保健活動、病院と行政

県別の医師数(人口千対)と平均寿命

県名	医師数(順位)	平均寿命順位
徳島	2.82 (1 位)	男 36 位、女 33 位
鳥取	2.81 (2 位)	男 31 位、女 16 位
長野	1.91 (35 位)	男 1 位、女 5 位
新潟	1.79 (38 位)	男 23 位、女 9 位

や救急隊などとの連携が県民の健康増進に大切なわ。

臍ばあ: 医学部作りにいっぺこと銭使うより、いまの体制をもっとうまく回すのに使った方がわしも長生きできそうらて。